

技術情報シート

1. 技術の名称	廃棄物のストーカ直結溶融システム
2. 技術の内容	ストーカ炉と灰溶融炉を一体化したもの。 既設ストーカ炉への追設も可能。
3. 技術の概要	【技術の目的・用途】 廃棄物の焼却・溶融を目的とし、焼却はストーカ炉で行い、溶融は高濃度酸素による燃焼バーナで行う。 【技術の特長】 ストーカ炉と溶融炉が一体構造であり、排ガス処理工程はストーカ炉と溶融炉で共通化できる特長を有する。 特 長 1) 焼却灰の顕熱を有効利用 2) 溶融炉専用の排ガス処理設備が不要 3) 全量溶融可能 4) 運転人員の増員は不要 5) 溶融スラグの再利用可能 6) 間欠運転も可能 【実績】 佐世保広域圏北部塵芥処理一部事務組合 4.8t/16h、 脊振共同塵芥処理組合 12.6t/16h、糸満市・豊見城市清掃施設組合 22t/24h 【価格又はその問い合わせ先】 下記7. 問合先窓口・担当者をご参照下さい。
4. 技術の分類	
①用途分類	都市ごみ処理
②対象廃棄物	紙・段ボール、廃プラスチック、ペットボトル、発泡スチロール、食品・生ごみ、
③提供役務	プラント建設
5. 本技術に関するサービス提供が可能な国	案件ごとに相談による
6. 検索キーワード	廃棄物処理、ストーカ炉、灰溶融
7. 問合先窓口・担当者	株式会社 川崎技研 (代表)TEL:092-551-2121 FAX:092-561-5100 http://www.kawasaki-giken.com